



4月号

学校だより

みどりの

学ぶ当事者 支える当事者 緑野小学校

- 考え伝え合う子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりぬく子

令和6年4月9日

ご入学・ご進級おめでとうございます

校長 大塚 恭子

校庭の桜、木々の新芽、春の息吹は、子どもたちの新たなスタートを応援してくれている、そのような気持ちになってきます。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。可愛い1年生137名を迎え、緑野小学校は全校児童862名で、令和6年度の船出をしました。

今年度より、緑野小学校の校長を務めさせていただくことになりました大塚恭子と申します。

本校は、「郷土を愛し、品格をもって 志高く生きる 子どもの育成」を教育の基本理念としています。学校教育目標は、「考え伝え合う子」「心豊かな子」「元気な子」「やりぬく子」です。その具現化のため、重点目標を「当事者意識:人に頼らず 自分から 相手意識:相手をよく知り 大切に」と掲げ、教育活動の様々な場面で自律を促していくとともに、人と関わる力を身に付け、人に対して温かい思いを持てるような児童の育成に努めます。「当事者意識」とは、言い換えると「自分事にする」という意味でもあります。自分だったらと考え、行動する子どもを育てたいと考えています。学校を<学びを支える当事者>と位置付け、その役割を果たし、それぞれのご家庭には<育ちを支える当事者>として、そして地域の皆様には<見守り支える当事者>としての役割を担っていただき、<成長し学ぶ当事者>である子ども達が、地域を担う未来の人材として健やかに成長していけることを目指していきます。

最後になりましたが、日頃より地域の皆様、保護者の皆様には登下校等子どもたちの安全・成長を見守っていただきありがとうございます。今年度もどうぞよろしく願いいたします。